

『歯科検診結果のお知らせ』の説明

A. 今のところ特に問題はないと思われます。

むし歯も歯肉炎も、今のところ心配はありません。しかし、これからも歯みがきを丁寧に行い、定期健診を受けるように心がけましょう。

B. むし歯になりそうな歯があります。（要観察歯）

まだむし歯にはなってないので、治療の必要はないと思われますが、溝などに少し色がつきはじめたり、歯のつけ根が白くなっている場合は、むし歯に進みやすいので、特に歯みがきに注意しましょう。

C. 少し歯みがきの良くない所がありました。（要観察歯肉、歯垢）

歯肉に軽い炎症または歯垢が認められ、このままでは歯肉炎になってしまいそうなので、注意深く歯みがきを行いましょう。

1. むし歯と思われる歯があります。（乳歯・永久歯）

むし歯は一度かかると治療を受けない限りなおらないので、あまりひどくならないうちに受診して下さい。

2. 歯肉炎が疑われます。

歯肉に炎症をおこしていると思われますので、主治医の指導を受けて下さい。歯のみがき方が悪いと歯肉がはれたり、血が出やすくなってしまいます。

3. 不正咬合の心配があります。

不正咬合には、歯ならびが悪く、正常なかみ合わせでないものをいいます。発音障害やむし歯、歯肉炎の原因にもなります。また、顎の関節に異常をおこすこともあるので、主治医に相談して下さい。

4. 顎関節症の心配があります。

顎関節症になると食物がかみづらい、大きく口を開けると顎の関節が痛いなどの症状が出て、ひどくなると口が開けにくくなり、肩こりや、頭痛を伴うこともあります。このような場合は、主治医に相談して下さい。

5. 要注意乳歯があります。

乳歯から永久歯にはえかわる時期に、永久歯の萌出をさまたげている乳歯のことです。